

2011年度第7回多摩デポ理事会

1. 日時：2012年3月13日（火） 午後6時30分から
2. 場所：国分寺労政会館 第二会議室
3. 議決権のある理事：8名、出席理事：7名

出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、吉田徹

4. 報告事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2012/3/12現在 正会員 104名、3団体 賛助会員 42名、2団体
- ・2011年度で退会希望：正会員 3名

(2) 第2号議案 多摩デポブックレットの売り上げ状況および7号について【報告】

- ・1月末現在けやき在庫
 - ① 28/400 ②25/250 ③15/250 ④15/250 ⑤34/350 ⑥22/300
- ・7号 → 第8回多摩デポ講座（山田優子氏）記録、発行は5月総会時予定

(3) 第3号議案 多摩地域公立図書館大会（第1分科会）について【報告】

- ・日程：2012年2月7日（火） 会場：立川アイムホール
- ・テーマ：震災と図書館支援 ・基調講演：Help-Toshokan 西野一夫氏・矢崎省三氏
- ・事例発表：府中市、三鷹市、立川市、多摩デポの「矢吹町図書館支援」（吉田光美）
 - 多摩デポの発表は時間が足りなくて残念だったが、この機会にレジュメとして今後も役立つ内容の支援記録をまとめることができた。

(4) 第4号議案 第12回および第13回多摩デポ講座について【報告】

<第12回>

- ・1/28 国立国会図書館憲政資料室見学
- ・参加12名（会員7名、非会員5名うち学生生徒4名）
- 若い人の参加もあり、限定された人数ではあったが、現物の持つ力に感動、好評であった。

<第13回>

- ・日時：2/25（土）午後2時～ ・会場：国文学研究資料館 2F オリエンテーション室
- ・講師：青木睦氏（国文学研究資料館） ・テーマ：“災害と資料保存”
- ・参加：26名（会員12名 非会員14名）
- ツイッターやホームページをたどって申込した参加者もいて、非会員がいつもより多かった。多摩デポの活動を知って関心を持ってもらえるとよい。
- 多摩の現役の図書館員の参加が少ないのが残念。現場の日常にひきつけたテーマで、若い人に参加してもらってつなげていくことを考える必要もあるのではないか。

(5) 第5号議案 東大和市除籍候補資料横断検索ボランティアについて【報告】

- ・1,466件、ボランティア9名 2/15終了
- ・今回は急な依頼だったので、事務局の周辺で依頼したが、年度初めにボランティア登録をしてもらうことが必要。
- ・ここまで逼迫しているのかという思いと、逆に言えばよくこれまで持ちこたえてきたな、という感想。今回は2自治体以上所蔵が87%、1回目に比べてやや少なかった。

4. 協議事項

(6) 第6号議案 図書館資料の里親探しについて【協議】

主に参考図書（旧版含む）、文学個人全集など、多摩地域での里親の見込みはないが、東北の流

- 出図書館が再建されたら必要とされる可能性のある資料について、事務所で預かることができるか。
- 多摩地域を優先するのが基本。事務所の容量もあるので、広く集めるということではなく、とりあえず現在申し出のある範囲で、厳選して長く使えるものを受け入れる。リストを作成、HP で公開して広く見てもらえるようにする。
 - 被災地については県立図書館に相談することも必要だ。現地の要望とマッチングさせないといけない。

(7) 第7号議案 2012年度総会に向けた対応について【協議】

日時：5月20日(日) 午後2時 場所：国分寺労政会館第1会議室

内容：2011年度事業報告 2011年度決算報告(同監査報告)

2012年度事業計画 2012年度予算

- ・記念講演会ではなく、5年目を迎えて初心を確認する意味で「多摩デポを立ち上げるに至ったきっかけの都立問題、館長協議会で5万冊を引き受けた経緯、都立多摩の地域資料廃棄問題」を中心にしたパネルディスカッション、あるいは座談会形式のものを企画する。

- ・事業計画、活動方針について

- 事務局から「案」を提出するに至らず、理事会でのフリーな討議となった。

- 理事より、本体事業の実現が見えてこない中での活動について、「VdepoL TAMA 構想」(Virtual deposit library TAMA)の提案があった。一つの研究課題として、研究していくことを確認。都立図書館の動き、収集と保存の分担に関するワーキンググループの検討結果、都立多摩の移転問題および跡地(施設)の有効活用などについて、館長協議会への働きかけや、提言活動も盛り込むこととする。

総会案件については4月7日の事務局会議で検討し、次回の理事会に提案することとした。

(8) 第8号議案 陸前高田市立図書館資料レスキュー活動について【協議】

- ・この活動は、陸前高田市教育委員会の要請に基づいて岩手県立図書館と日本図書館協会東日本大震災対策委員会、きずなプロジェクトが協力して実施する事業の第1期活動で、2012年3月17日～19日に陸前高田市立図書館(全壊・流出)のBM車庫に積まれて残っている資料の状態調査及び郷土資料の保全資料の選別が行われる。「被災地の蔵書の再構築」という多摩デポの事業計画にも含まれる活動であり、事務局としてはぜひ取り組みたいと考えている。

- 「多摩デポ本来のテーマとはズレがあるのではないか。少なくともバランスを欠いているように感じる。」という意見も出たが、論議の結果次の結論を得た。

*今回3月17日から19日までの期間多摩デポの理事及び事務局5人が、陸前高田市立図書館資料レスキュー活動に多摩デポとして参加し、郷土資料の状態、資料復元の取組み、支援体制の状況などを現場で調査・現認をすることを理事会として確認した。これらの結果に基づいて、今後の支援活動をどのように進めるかを再度検討することとした。なお、今回の参加については、矢吹町支援と同様に日本図書館協会のHelp-Toshokan活動の一環として参加することも合わせて確認した。

(9) 第9号議案 多摩デポ通信第22号の発行について【協議】

- ・4月25日発送作業予定を了承、内容については、MLで報告する。

次回の理事会 4月18日(水) 午後6時半 国分寺労政会館 第2和室
次回の事務局会議 4月7日(土) 午後2時～夜まで 調布たづくり 11F